

「観音さまは、とても待っていた」

天津・在日中国殉難烈士劳工記念館、

日中友好協会北海道連会長 鳴谷 節夫

【気が付くと5年ぶり】

今回の天津記念館参拝は4回目です。いつも気になつていながら先のぼしにして、今年は2人でも行こうと腹を決めていました。幸い7人の仲間が参加してくださつて、立派な参拝団になりました。非常感謝！

出発間近かになつて、過去の参拝を調べてみると第3回は2013年10月です。え！もう5年も経つたの！私は観音さまを納める時、先方に毎年お参りに来るよいうなことを言ったので、大慌てです。

【天津への道、気を揉む】
翌朝バスで出発。道中気を

揉みました。

2010年観音さまを奉納した時、記念館のセントーに当たる広いホール正面に安置してもらいました。その後厨子を運んだ時はもちろん、5年前も不動でした。ところが、2015年の抗日戦争勝利70周年記念改修事業で、観音さまが、納骨館の方片付けられたのでないかと心配したのでした。

【観音さまは無事だった】

記念館は2階イベント用の広いテラスがありその正面から入ると広いフロア。全部が充実した強制連行問題の展示場になっています。



2階展示場の入り口で



慰霊観音像の前で説明員と

階段を降りて1階に。広い廊下からガラス越しに納骨館があり、観音さまを安置した立派なホールがあったのです。

戦勝70周年記念の大改修で、ホールは約半分になり納骨館とともに入り口も分らないように壁面が展示場に代わりました。強制連行された人たちの遺族の闘いと日本の戦後補償裁判、



1階納骨館の大きな位牌の前で

西松・三菱マテリアの和解などで、この展示の必要性はよく理解できました。納骨館と慰霊観音ホールは普段公開していないとのこと。

【奉納10周年を記念して参拝ツアーに取組みたい】

再来年は奉納10周年になります。ぜひ記念参拝ツアーをやりたい。8年前慰霊観音像受入れに尽力された方々は皆引退されていますが、その方々をお招きして、盛大な交流会を持ちたいものです。



北京・盧溝橋の抗日戦争記念館前で

追分支部に地震見舞

先の胆振東部地震で日中友好協会追分支部の会員・准会員の皆様が大きな被害を受けました。

北海道連と小樽支部、札幌支部は、お見舞いを送りました。苦小牧支部は、直接届けました。早い復興を心から願っております。

「望郷の鐘」と「母」の上映会

10月19日 10時30分
札幌エルプラザホール
山田火砂子監督が挨拶
2015年に試写会や上映が行われた「望郷の鐘・満蒙開拓団の落日」と「母・小林多喜二の母の物語」の2本の映画会を、

札幌駅北口の札幌エルプラザホールで、午前10時半から「望郷の鐘」の上映。午後2時から「母」の上映を行います。

前売り券は日中友好協会と大丸ブレイガイドにあります。前売り券は、望郷の鐘も母もそれぞれ1200円、当日券1500円です。

日中友好協会札幌支部
電話
011(814)8658

会員・准会員の皆様

日中友好協会のカレンダー「中国悠久の旅」の

普及にご協力をお願いします。